

満開のシャクナゲとツリ名人復活か？ (天国と地獄)

5月の好天下ではどの山に行っても眼に優しい新緑が迎えてくれるので、近郊の山は一年で一番好きな季節だ。6月に入ると雨もあるし、蒸し暑くなる。5月の行事は出来るだけ参加しようと決めていた。堂満岳もメールで早く申し込んだ。ところが、なぜか山行届の名簿から漏れ、集合場所ではキョトン顔で迎えられた。アレレ・・・と顔を見合す。

4月、5月と三上山・東海自然歩道とトレッキングシューズでよかったが、今日は登山靴の出番となる。天気心配はほとんど無い山行も久しぶりで雨具はカッパのみとした。以前、武奈岳で雲一つない青天に恵まれたことを思い出す。

新緑の中を歩けばもうそれで十分と思っていたところ、石楠花みちでは、次々と現れるシャクナゲに感激の声。CLをつとめる彼女は余裕があって、「アツ イワカガミだ」「ほら右上を見て」「アツ 左上に！」・・・と木の間にシャクナゲ発見の名手だ。足元を見ながら必死で登る小生はそのたびに足を止めたり、カメラを向けたりしているうちに、つい前と間が空いてしまい急ぎ足となる。あまり素晴らしかったので対抗して道を譲ってくれた方に「もう少し行くと素晴らしいシャクナゲが待ってますよ」と伝えたものの、その先もまだまだシャクナゲ道は続いていて、言った自分を笑ってしまった。CLが5月の連休に来た時は満開だったので、登り始めの「今では、あまり期待できないようです」のセリフに反してうれしさ倍増だ。「成長抑制剤でも、下見の時にまいてくれたのかな」と冗談を飛ばす。チョットした斜面の向きや日当たり具合で盛り時の時がずれたのが幸いした。

石楠花だけでなく、白ヤシオ・赤ヤシオも時々現れ、前を歩く方が「極楽浄土に向かっているのではないか？」と聞こえてきた。一生分の石楠花とは言い切れないが、満足した。今年は当たり年のようだから、再来年頃に又来るといいかな！

花道に浮かれているうちに、金糞峠から堂満岳への後半はキツイ登りとなり、大きな段差を超えるには、短い脚に頑張ってもらわねばならぬ。しかも、食後30～60分後はツリが来る魔の時間帯だ！いやな予感がする。御在所岳での急坂も、私にとってはツリの名所だ・・・とツリ名人時代のこと思っていたら、大きな段差のところ左ふくらはぎに当たりが来た。左が治り、ややかばってあるいていたら、今度は右足へのお迎えだ！入会して間もない頃、鷲峰山での下りで両足がツリ、動けなくなり、平松さんに背負われ、皆さんの助けで下山したことがあった。その時以来自稱「ツリ名人」。その後の鍛錬で、ツリの頻度も減り、2009年夏には3泊4日の白馬縦走では何事もなく「ツリ名人返上」を宣言したものだ。最近先輩から丈夫になったと褒められることもあったのに！

今年は後期高齢者となり、Yuさんのように甘南備山・交野山のエージ登山を順調にこなして体力作りに努めてきたのに、皆さんにご迷惑を掛けることになってしまった。

想定される原因はいくつか思い当たる。

- ① 山での食事は一度にとらないで、少しずつ休憩時に取る。コンビニオニギリより大きな愛妻おにぎりを昼食の時に二つも食べ、血液が胃の方に流れ、第二の心臓といわれる足にまわらなくなったためと思う。愛におぼれてしまったためか??
- ② 体重の増えすぎ。CLからお腹の周りのフックラを指摘される。正月の時に急増し、いっこうに減らない体重は悩みの種で、今月初めから毎日の体重をグラフ化し、減量中であった。適正体重=(身長-100)-2kg という説もありますので、現在努力中です。
- ③ 前日の疲れが残っていたか？ 前日の夜に、体育館で卓球をやり、汗を流した。1:30位なら丁度良い疲れでグッスリ寝むれるとのつもりだった。計画通りよく寝られたが年齢と共に、疲れの回復は遅くなるといわれているので、ミスマッチが起こったようだ。
- ④ 塩分不足か？ 卓球の時に持っていったスポーツドリンクをバックの中に入れてそのままにしてしまい、リュックに移しかえるつもりを忘れてしまう。水分1リットルの予定が半分しか持ってない。しまった！ Kuさんが沢山あるからと健康茶を譲ってくれたので助かる。救急品の中に、塩そのものはあるも、取り出すのは面倒で、つる前に飲むべきものをつってからではもう遅い！ 転ばぬ先の杖 が実行されてない。

つった後は皆さんに大変ご迷惑を掛けることになりました。荷物を分散したり、リュックを持っていただいたり、テープシュリングで習ったばかりのチェストハーネスを手際よく付けてくれていつでも引っ張り上げられるようにしたり、痛み止め対策をしていただいたりしながら、堂満岳への最後の急坂をゆるりと登ることがなんとか出来ました。

下りは小股・小股で下り、無事イン谷に到着した。ここから比良駅までまだ1時間歩く予定だったが、Tさんが自家用車でここまで来ていたこともあり、京田辺まで同乗させていただき助かりました。今回は「ツリ名人」の資格を取った時ほどひどくなくてすみましたが、精進して仲間にご迷惑を掛けないように努力いたします。得意科目の一つにはちがいないので、その時は又よろしく願いいたします。

CLをはじめ、皆さんにはいろいろお世話になりありがとうございました。素晴らしかったシクナゲの群生と共に忘れられない山行でした。

